

# あがまち

No.51  
2018.2

## 議会だより 津川病院建替要望



- ・ 県立津川病院建替の知事要望… 3P
- ・ 12月定例会議 …… 4P
- ・ 一般質問 …… 8P
- ・ 町民の広場 …… 17P

発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112  
新潟県東蒲原郡阿賀町津川580番地  
発行責任者：議長 猪俣 誠一  
メールアドレス：gikai@town.aga.lg.jp

## 11月1日、中野小路たかまるさん 阿賀町観光大使として委嘱

### たかまるさんからのコメント

この度、初代阿賀町観光大使に任命していただき心より有り難く思っております。

これからも我が故郷、魅力ある故郷阿賀町のために微力ながら、PR活動をしていきたいと思っていますので、ご協力よろしくお願い致します。



中野小路たかまるさんと町長

12月3日、町道川口岩谷線寿橋の竣工式が行われた。  
現在、県では阿賀野川を渡河する（仮称）白川大橋の整備を進めています。この橋の完成により、国道49号や磐越道三川ICへのアクセスが格段に改善されます。  
早期の完成を期待する。



新潟地域振興局津川地区振興事務所提供

人権擁護委員候補者の推薦に同意  
大竹衛一氏  
（太田区）  
人権擁護委員候補者に

皆さんのご意見提言をおまちしています。  
どんどんお寄せ下さい。  
阿賀町議会 TEL 0254-92-3112  
FAX 0254-92-5725  
メールアドレス gikai@town.aga.jp

### 広報広聴常任委員会

委員長	入倉 政盛
副委員長	斎藤 栄
委員	石川 太一
委員	五十嵐 隆朗
委員	宮川 弘懿
委員	小池 隆晴
委員	清野 真也

ホームページURLでも本会議の会議録が閲覧できます。  
ご活用下さい。  
<http://www.town.aga.niigata.jp>

### 編集後記

今日、異常気象が地球規模で大きな災害が起きている。  
町内は特に小雪の年末年始でした。昨年は県立病院について米山知事に要望書の提出。地域と語る会では、少子高齢化社会のなか、後継者や空き家問題など特に議会はサル、イノシシ等の鳥獣被害をテーマとして取り上げ、町としても重点的にとりこんでいます。私たち議員も皆さんの声を反映できるよう努めてまいります。  
今後も、町民の視点に立った紙面づくり、いっそう力を入れ、議員の資質向上はもとより、町政の発展につながる広報づくりに努力していきます。

（入倉政盛）

# 町議会、県知事に要望

## 県立病院の建替と機能拡充、人員の増員を

町議会は昨年11月9日、沢野県議会副議長を介して、町長と全議員が県庁で米山知事に對して、県立津川病院の早期建替え案と改築工事の着手、外来診療科目の充実等を要望した。

13ある県立病院のうち改築中の加茂病院、十日町病院に次いで古く、耐震基準を満たしてなく、老朽化が著しい。

米山知事は「耐震性がない以上、なんらかの対処が必要。建替も一つ（の選択肢）としてしっかりと検討させていたいただきたい」と前向きな発言があった。

以前から毎年、町議会は要望事項の早期実現を町村議会議長会に提出してきました。

これから実現のため努力してまいります。



要望書、米山県知事に提出

### 議会が要望していた事項

- ①早期に建替計画を立て改築工事に着手すること
  - ②内科以外の診療科目（特に眼科・整形外科・泌尿器科等）の充実を図ること
  - ③夜間救急に対応できる当直医・看護師を確保すること
  - ④医療機器等の維持管理に十分な予算措置を行うこと
- 以上を議会として要望をしました。

早期建替が期待される  
県立津川病院



阿賀町議会議長 猪俣 誠一

### 新年を寿ぎ謹んで新年のお慶びを申し上げます

議会は昨春の一般選挙により改選され、12名でのスタートとなりました。町民のみならず、町民の声を広く議会に反映し、従前と変わらぬ議会運営を図る為、常任委員会の委員構成の改正を図り、従前は事務を所管する常任委員会へは一人1常任委員会への所属でありました。複数の常任委員会への所属を可能にして、諸会議に多くの意見を反映させると共に、議会として審議の活性や議員間の情報の共有を図ることに努めてまいります。

町は合併この方、人口の減少が止まる事が無く、少子化・高齢化が著しく進行いたしております。此の事から、議会は町の活性を目的に、委員会活動のみならず、全員協議会や必要に応じては町民の皆様から参加を頂く「一般会議」等を開催し、みなさまからのご意見・ご提言を集約する中で、全議員で事務事業の審議を重ねてまいります。

また、町には多くの課題が山積しております。防災拠点整備や黎明高校をも含めた修学環境整備、町活性の原動力となる経済振興、進む高齢化を踏まえての福祉施策整備、さらには、経営が難航している三セクの処遇等、議会としても町と課題を共有し、みなさま方のご意見をいただく中で、課題の克服に努めてまいります。町民の皆さんの豊かな暮らしと安全・安心の為、男女を問わず地域活動の原動力となる若い担い手の皆さんの議会への参加を宜しくお願いいたします。

結びに、町民のみなさま方の声が反映できる議会運営を図る為、多くの方々の議会への参加をお願い申し上げますと共に、すべての町民のみなさま方の益々のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 謹賀新年



入倉 政盛	五十嵐 隆朗	小池 隆晴	齋藤 秀雄	猪俣 誠一	石川 太一	神田 八郎	石田 守家	山口 周一	斎藤 栄	宮川 弘懿	清野 真也
-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------

# 総文社厚事務調査報告

- ・買い物難民対策と空き校舎利活用対策
- ・公共交通対策と告知端末電話活用

## 総文社厚常任委員会

委員長 齋藤 秀雄

## 委員会活動レポート

### 管外調査

◆調査事項① 買い物難民対策 秋田県由利本荘市赤田区

#### 調査の概要

由利本荘市において秋田県が取り組む対策について事業運営を自治体で組織していること。

#### まとめ

秋田県と由利本荘市赤田地区の連携により買い物難民対策としてスーパーを経営し、地域コミュニティを図り運営していた。また、地域で山菜の特産化へも取り組んでいた。当町でも取り組めるものと感じ提言していく。



買い物難民対策のスーパー

◆調査事項② 空き校舎利活用について 秋田県大館市管財課

## 12月定例会議

12月定例会議は、12月13日から12月18日までの6日間の日程で開催され、町長から提案された議案19件（平成29年度一般会計・特別会計補正予算9件、町道路線変更、建設工事請負契約の変更、条例の一部改正5件、町有財産の無償譲渡2件）諮問1件（人権擁護委員候補者の推薦）の計20件を審議し、原案のとおり可決した。

## 平成29年度一般会計補正予算 1億5,600万円を追加し 総額を131億1,066万円とした

### 主な歳入

- ・ふるさと寄附金 .....1億3,000万円
- ・国庫支出金（災害復旧負担金 他） .....862.5万円
- ・県支出金（民生費補助金） .....372.6万円
- ・繰越金 .....634.5万円
- ・町債（川まちづくり、災害復旧） .....680万円

### 主な歳出

- ・ふるさと納税寄附謝礼金 .....6,410万円
- ・還付金（みかわ温泉補助金） .....3,907.3万円
- ・住民基本台帳委託金 .....220万円
- ・介護基盤整備事業 .....732.6万円
- ・川を活用したまちづくり .....500万円
- ・街路灯修繕費 .....200万円
- ・消防用運営費（災害復旧） .....353.8万円
- ・道路災害復旧費 .....820万円



介護基板整備事業あっとほーむたち

### 主な特別会計補正予算

- ◎介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算
  - ・介護予防、生活支援サービス事業 .....551.9万円
- ◎介護保険特別会計（サービス事業勘定）補正予算
  - ・居宅介護支援事業 .....270.5万円
- ◎簡易水道事業特別会計補正予算
  - ・津川地区簡易水道施設修繕費 .....160.2万円

## 町有財産の 無償譲渡

一、旧吉津公会堂を吉津区に譲渡し、有効活用とするもの

一、株ホテルみかわに阿賀町所有の土地建物を譲渡。

## 条例改正の 主なもの

・阿賀町職員の給与に関する条例の一部改正  
人事院勧告に準じて条例の改正

・阿賀町国民保険税条例の一部改正  
法改正による条例の改正

・阿賀町職員の育児休業等に関する条例の一部改正  
非常勤職員の規定の改正

・阿賀町公共施設設置条例の一部改正  
みかわ会館を削除

・阿賀町温泉施設設置条例の一部改正  
yuo&湯ホテルみかわを削除

・阿賀町温泉給湯条例の一部改正  
新三川温泉を削除

### 調査の概要

大館市で行っている空き校舎利用対策について管財課より説明を受けた。

#### まとめ

大館市の「空き校舎利活用策について」は企業誘致と雇用促進の両立を図るものであった。当町の空き校舎利活用対策にも可能性を確信した。今後の議会活動において提言していくことにした。



空き校舎利用  
(ドローン工場)

◆調査事項③ 公共交通対策 鳥取県日南市

#### 調査の概要

日南市はバス事業への助成金が膨らむことから見直しを検討した。直営バス運行を決断し、地域交通の確保を図った。

#### まとめ

当町においても経費の膨らみは避けられない課題なので来年度の公共交通対策の見直しに議会として提言することにした。



日南町公共交通対策調査

◆調査事項④ 告知端末電話活用 広島県安芸高田市

#### 調査の概要

安芸高田市が導入した告知端末電話は当町が導入更新した機種の新進地として利活用状況を調査した。

#### まとめ

更新が進められているが利活用策をさらに充実するように研修成果を提言していくことにした。  
今回の研修では、公共交通の在り方や告知端末電話の利活用も住民へ丁寧な説明会を開催するなどしてほしいので、町側に要請する。



告知端末説明会

## 地域と語る会 鳥獣被害・災害関連をテーマに

広報広聴常任委員会

委員長 入 倉 政 盛



集会所での語る会（鹿瀬）

**地域と語る会の開催**  
10月26日、11月8日・13日・17日の4日間、3班に分かれ、各地区12会場において「地域と語る会」を開催しました。各地域の皆さんは特にサル対策には真剣に取り組んでおられましたが、効果的な対策が出来ず大変困っておられます。皆様からお聞きしたこれらの意見・提言を号外として発行、その後議員で協議し町への要望と各常任委員会で検討する事項に分け、検討結果を今後発

行する議会、だよりに報告します。委員会で協議、編集作業を行い、今後発行する議会、だよりと一緒に発行する予定です。



委員による編集作業の様子

### 議会だより編集作業

編集作業は4日間の作業工程です。

一般質問のレイアウトは、統一することに決め、見やすくするようにし、写真を多く掲載するようにしました。これからも読みやすく、親しみある紙面づくりに努力してまいります。

## 議会改革の取組みについて

議会運営委員会

委員長 神 田 八 郎

### ◆調査日

平成29年10月11日

### ◆調査地

鳥取県日南町

### ◆調査の概要

日南町議会は、平成23年6月に議会改革に関する「調査特別委員会」を設置し、情報公開、監視機能、政策立案機能等の項目について平成26年10月まで議論してきました。  
・平成25年10月1日、日南町議会基本条例を施行。  
・平成23年3月11日の東日本大震災による福島原発の事故をうけ、「日南町再生可能エネルギー利用促進条例」を議員発議で条例化し、太陽光発電施設の事業化や家庭用太陽光発電への助成を実現しています。  
・平成24年7月には住民から要望の強かった「住宅改修条例」「意欲ある農業者支援条例」を委員会発議で条例化し、「空き家等の適正管理」に助

成制度をスタートしております。  
・特筆すべきは、町長に「反論権」を付与していることでした。

### まとめ

日南町では平成16年度よりCATVによる本会議の生中継を実施しており、平成26年4月からはタブレット端末を議会運営に導入し会議のペーパーレス化に尽力している等、日々努力されている様子が窺え、当議会としては大いに勉強になりました。

## 産業建設事務調査報告

- ・エゴマ商品化の取り組みの現状
- ・小水力発電事業の取り組み
- ・センターネットワークによる鳥獣被害対策

産業建設常任委員会

委員長 五十嵐 隆 朗

### 管外調査

◆調査事項① 「エゴマ商品化の取り組みの現状」 島根県出雲町

### ◆調査の概要

平成27年度エゴマ栽培面積31ha、収穫量日本一に輝いた。現在、農業参入企業5社、農家31戸が国営農地開発地で栽培の拡大を図っている。

### まとめ

遊休化している農地を開拓し、いろいろな農作物を栽培していた。企業の参入や、エゴマ栽培の機械化がされていた。平成19年から平成27年まで収穫面積は増加していたが、昨年は急激に減っていた。



出雲庁舎にてエゴマの取り組みの説明を聞く

◆調査事項② 「少水力発電事業の取り組み」 岐阜県中津川市

### ◆調査の概要

大正時代に作られた歴史のある農業用水路の未利用落差着目し、水路の一部を発電用導水路として活用し民間2社と地域、中津川市の支援を基に本パイロット事業を進めていた。

### まとめ

説明を受けた市内の落合地区では、雇用などがあつて官民がかみ合つて発電設備に取り組んでいた。地域の活性化にはお金が回る仕組みが必要だ。

### ◆調査事項③ 「センサーネットワークによる鳥獣被害対策」 長野県塩尻市

### ◆調査の概要

塩尻市内に敷設した130kmに及ぶ光ファイバー、市内区域を網羅したアドフック無線センサーネットワーク網を基盤として鳥獣の追い払いを行っていた。

### まとめ

平成24年度の取り組みにおいて、耕作面積の被害が20%減少、平成25年度は鳥獣被害がなくなったという。「棚から牡丹餅」そんな思いであつた。鳥獣被害に対して手段が無いのではと思っていた。説明を聞いて文明の利器を使って猿退治ができる

かもしれないと思った。

### 管内調査

◆調査日 平成29年11月27日(月) 調査事項

- ・奥阿賀観光(株)と(株)上川温泉の合併
- ・麒麟山公園改修工事(繰越)
- ・(公財)上川農業振興公社の稲刈り
- ・平成29年度除雪計画
- ・吉津地区農業集落排水施設機能強化対策工事
- ・吉津地区河川堤防水門完成状況

以上視察調査を行いました。



吉津地区農業集落排水施設現地視察



いしだ もりいへ 議員  
石田守家

# 問 町政運営の継続はどうか 来年11月の町長選に意欲を

答 今は、行政管理をしっかりと進めたい  
町長選は将来的課題、現在は町政の職責果したい

## 決断は近い将来

**質問** 年が明けたら町長選が話題となる。私も間もなく後期高齢者です。後期高齢者の神田町長の今日までの行政手腕を評価したい。

**町長** 主要である次期について、私は石田議員より高齢、加齢とともに身体的にも厳しい。十分加味しご支援、ご指導下さる皆さんのご意向も伺い対応して参りたい。現段階は町政業務に没頭しておりません。全く考えないわけではありませ

## 高齢者に期待

**質問** 職務に専念する意思が強い、残された課題は多い、三セク等重大問題もある。やるべきことは町政全般、年齢ではない管理能力が問われている。

**町長** 年齢もある部分非常に多い。皆さんの意向も伺い、今すぐ申し上げられませんがご理解をいただきたい。

## 民家裏の崩壊は

**質問** 上川地区、牧野区の民家裏崩壊復旧状況について、以前産業建設常任委員会で見地調査されている。

**町長** 現在これら住宅の安全性は危険な家の周りとなっている。危険な崖と冬期間の除雪の関係、管理問題が重要視されます。調査後の現況はどうか伺う。

## 危険区域に指定

**町長** 新潟県の崩壊危険区域指定地、高低差が大きい。小出川と滝沢川沿いにある、住宅二軒に隣接された箇所は単管パイプによる転落防止柵を設置してある。住民の生命を守ることを重点に力を入れている。

**質問** 危険防止策が設置し

てるとのこと、現状はなにも防止策等はされていない、なぜなのか。

**町長** ご指摘された、縄も標識もない管理状況、再度降雪時どう対応されたいか適合した施策を講じた



奥阿賀観光(株)と統合も計画されている(みかくら荘)

## 一般質問



活用されていない三宝分小学校の校舎

平成29年12月定例会議では、8人の議員から一般質問があり、町政全般について活発な議論が行われました。

### 1、石田 守家

- ・町政運営の継続に意欲的な考えは
- ・牧野区の民家裏崩壊復旧状況はどうか

### 2、五十嵐 隆朗

- ・廃校の有効活用
- ・町財政の現状

### 3、宮川 弘謨

- ・わが町の温泉施設と阿賀の里の今後の課題と教訓
- ・小さな自然災害による国土の荒廃が更に過疎化を招く

### 4、小池 隆晴

- ・公共施設のあり方はどうなる
- ・空き家の問題解決になるのか

### 5、入倉 政盛

- ・国保広域化にむけ到達と課題は
- ・第7期介護保険事業計画の進展状況は

### 6、斎藤 栄

- ・有害獣サル対策

### 7、齋藤 秀雄

- ・阿賀町活性化
- ・少子高齢化社会の今後

### 8、清野 眞也

- ・交流人口の増加対策
- ・廃校後の校舎・保育園の利用促進
- ・ふるさと納税

\*一般質問＝議員が執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針について所信を質し、あるいは報告、説明をもとめ又は疑問を質すことをいう。本町議会の場合「一問一答方式」で質問時間は、答弁を含め一人一時間以内となっている。



五十嵐隆朗 議員

## 問 廃校の有効活用

答 ホームページなど利用し、積極的に募集する

### 体育館を室内グラウンドに

**質問** 廃校の体育館の床を取り、屋内グラウンドにしては、少年野球・サッカー・テニス・ゲートボール等、冬場、悪天候などには、練習が出来ない。特に雪の季節のハンディは大きい。そこで、廃校の体育館の一つ床をはがし、屋内多目的運動場にしては、阿賀町も屋内練習場など必要ではないか。維持管理は、使用する人がボランティアで臨機応変に対応してはどうか。

### 安全性の観点から可能か調査する

**町長** 体育館の床の撤去改修によって、降雨、降雪時において屋外スポーツが可能となる施設の改修は、改修施設は耐震対策をしており、床等を撤去した場合の安全性など、可能かどうか調査が必要だ。

### 廃校の跡地に再生エネルギーの施設を

**質問** 廃校のグラウンド、校庭、屋上などを利用して、太陽光発電関連事業を、積極的に導入してはどうか。

### 特別豪雪地帯で適さない

**町長** 降雪時期の対応、建物の構造上の可否、維持管理を考慮した採算性の問題等によって適さないのではないかと。しかし、先進事例の調査を行って、事業者の誘致に向けた情報発信は継続する。

### 廃校を一般企業に貸与

**質問** 空き教室を一般企業に、事務所、工場に条件よく貸与しては、用途は沢山ある。PRが足りないのでは、町民代表も加えたプロジェクトチームを作り、最前を尽くしてほしい。チャレンジして下さい。旧公共施設を稼働インフラに変えてください。

### 積極的に営業活動をする

**町長** 職員は、公共施設、学校であったり、頭から離れない。これらを見直し民間企業などに積極的に働きかけるよう努力させます。

## 問 町の財政状況は

答 普通交付税がさらに削減見込み

### 段階的に削減後の予算は

**質問** 現状の収支を保つことは困難ではないか。

### 平成31年度は基金取り崩しも必要

**町長** 30年度当初予算は、具体的金額は、まだ定まっていない状況、普通交付税が減額の見込みだ。31年度は、当初予算の段階から基金を取り崩す対応は必要。基金の取り崩しを行う以上、さらなる予算規模の圧縮が必要だ。

### 税収を上げる方法は

**質問** 県内一人当たりの所得最下位の阿賀町、今後の



利用されていない廃校舎

税収アップ方法についての考えはあるか。

### 外部からの企業呼び込み遊休施設の活用

**町長** 今はなかなか採算がとれなく難しいが情報収集している。10年後、20年後を視野に、覚悟と責任を持って進めたい。

## 問 農地、林地を守るは国の責任に係る財源は国に求めるべき

答 森林環境税に期待

**質問** 高齢化し、田畑の放棄地が荒れに荒れている。農道が決壊して復旧すら不可能となっている。林道も少かりです。

害復旧までできれば、町経済に活力が生まれるのでは。県の町村長会においても、国土保全のという意味で、国に財源要求等の気運はありませんか。

**町長** これらについては十分検討しております。



宮川弘懿 議員

## 問 第三セクターは、我が町最大の問題課題と教訓は

答 半官半民からくる経営の甘さがあった



経営難がつづくみかぐら荘

### 三セク問題はどこか

**質問** 民間ですと素早く時代の変化に対応できますが、官がかかると難しい。抜本的な改革が進みにくい理由の第一は、経営環境が厳し過ぎた。第二に優秀な経営者もなかなか見つからなかった。第三に多くの社員を抱えた雇用の場であった。次に、行政はやはり事業継続することが主眼となり、廃業はよほどではない

とできないという前提に立っている。

### ようやく総務省も腰をあげる

**町長** 指摘されているようなことだと思えます。総務省もようやく調査を始めております。

### 阿賀の里の公益性、公共性は

**質問** 阿賀の里は、公益性、公共性が最も欠ける施設です。民間がやるべき事業かはなほ疑問です。事業の発端と阿賀の里の株を旧三川村が取得した経緯は。

### 阿賀の川サービスエリア出店が発端

**町長** 細かいところまでは分かりません。当時阿賀野川サービスエリアに出店しようとしたのが発端であったと思います。

山間地に仕事がない。若者が都市へ出てゆく。過疎化に歯どめがかからない。山間地がどんどん荒廃していく、集落が消滅してゆく、これらどこかで断ち切らなければなりません。それには財源が必要です。

町単費でしか対応できなかった災



小規模災害着手前

工事完了



こいけ たかはる 議員

## 問 今後の公共施設の在り方は

### 答 検討委員会で話し合っている

**質問** 保育園や小・中学校が統合される中で、施設の再利用や維持管理が問題となっている。これからの公共施設の在り方をどのように考えているか。

**町長** 検討委員会は現在の施設の利用状況や将来に向けた必要性、売却、保存等を検討している。

**問** 空き家の問題解決なるか

### 答 税金は土地にかかってくる

**質問** 町の空き家バンクにはどのくらいの登録があるのか。

**総務課長**

20件弱です。

**町長** 不要な施設であつても維持管理費が発生する。経費を少しでも削減するため町有財産活用等検討委員会を発足させ、施設に限らず土地や物品を含めて、利用頻度を含めた現状の把握、方向性の検討、評価、方向性の決定を図るべく庁内議論を進めている。

**町長** 財政負担の少ないようにして取り組むというのが原則だ。

**質問** 大きな原因は人口問題だが、雇用が都市部に集中していることや、長寿命化による介護施設の利用増加、さまざまな原因が絡み合つての問題だ。人口が減少していても世帯数はまだ増加している。空き家解体に一番の問題は、お金の問題とされている。

**町長** 壊したも  
のには掛らない。  
土地に税金が掛  
かる。

居宅部分と二  
〇〇㎡以内は住  
宅用地として軽  
減される。それ  
以外はその他の  
宅地と言うこと  
で倍ぐらいにな  
る。



空き家の大きな問題のひとつ、屋根の雪下ろし

**質問** 施設の統合に利用需要が変わってくる。早急に公共施設の利用を把握し、更新、統廃合、長寿命化を計画的に行う事により財政負担の軽減をできると考えるが、そのようなことも検討委員会で話し合っているのか。



交通の便利なところにある町の文化センター、活用に期待する



いりくら まさもり 議員

## 問 町の国保広域化に向けた到達と課題は

### 答 仮算定のため本算定でどのような変化があるか分からない

**質問** 本算定は2018年1月の早い段階で示される。仮算定では県内で4自治体が上がる。阿賀町も若干上がる。現状の到達では保険税が上がることを回避することは厳しい。

**問** 第7期介護保険事業計画の進展状況は

### 答 第7期にあつても県計画との整合性を図りながら策定していく

**質問** 平成30年度からスタートとなる医療計画との整合性の確保は。

**町長** 医療介護総合確保促進法に基づき2025年に向けた医療供給体制を整えるため、県は新潟地域医療構想を定め、新潟県医療計画の年度内策定にむけた協議が進められている。

**町長** 速報値は1月初旬、確定値の内示は中旬から下旬です。仮算定では、町は激変緩和措置の対象となっている。30年度の保険税率は激変緩和措置をいたたく前提で設定したい。

保険税が上がることを回避することは極めて難しい状況です。結果次第では皆さんにご理解いただかなければならない。

**質問** 町でも介護離職があるか。「介護離職ゼロ」に向けた対応が来ているのか。

**町長** 介護給付費財政調整交付金の第7期計画期間における激変緩和措置は。

**町長** 町有財産活用検討委員会が平成29年3月に公共施設等総合管理計画を策定した。

計画の運用に当たっては、公共施設の保有量の規模、必要不可欠な施設については長寿命化の措置等を委員会において十分討議し、優先順位を定めて実施していく。

## 問 公共施設等総合管理計画は

### 答 管理計画は策定済み

**質問** 限られた財源のもと効率的、計画的に管理していく必要があるのでは。



議員 齋藤 栄

## 問 猿害対策は役場全体での取組みが必要

## 答 人員確保し、出沒予測等を情報発信

**質問** 広域的に電柵を設置し、効果が出ていることは、喜ばしいが、これまで被害が無いところに、猿が出てくる。津川旧市街地山沿い、西区・赤岩区は年々被害拡大し、農業従事者の耕作意欲低下を招いている。

猟友会東蒲支部でも、パトロールし駆除に努力しているが、猿の繁殖力には追いついていない。

町の担当課・係だけでは対応できない。町をあげた取組が必要だ。町の考えを伺いたい。

### 電柵の設置を推進

**町長** 広域的な電柵設置は効果がある取組の1つとして、今後も可能な限り、短期間に広範な地域に対策を講じる。

地域ぐるみの電柵の設置には、地域ぐるみの合意形成が必要だ。未設置集落へ

の呼びかけや勉強会や集落診断の実施を呼びかけていく。

有害鳥獣対策専門の地域おこし協力隊員が、3月で任期終了となる。阿賀町を拠点に起業したいとのことなので、連携して今までの対策を継続したい。

地域支援員制度等の活用し人員の確保・増員を図って出沒予想等の必要な情報発信をしていく。

### ※ICT通報の導入は

**質問** 先般、議会研修視察で長野県塩尻市のICTによる有害獣通報システムを研修した。ICT通報システムによって、地域ぐるみで猿を山への追い払いに効果を上げていく。補助金での導入の考えはあるか伺いたい。

**町長** ICTの技術進歩で猿被害対策にも有効であるが、高価なものであるため費用対効果を十分検討して

取り組むようにしたい。

### 追い払いの組織化を

**質問** 猿の追い払いは、地域の組織化が必要だ。町は、猿被害対策について地域への啓蒙活動と、猿の習性等の勉強会やリーダー講習会を設置して、地域が積極的に追い払いを実施できる環境を考えてほしい。

**町長** 町は、今後も専門家による講演会や勉強会の実施に合わせ、地区リーダー育成を図りながら、集落診断や対策方法の検討、そして事業実施に向けた合意形成、対策の成果を上げるためにも積極的支援していく。



ICT通報システム概要

※用語解説  
ICT通報システムとは、感知カメラをインターネットに接続し、写った獣を電波で送信。市役所のコンピュータでGPSで解析し、地域の区長や猟友会に知らせる。



議員 齋藤 秀雄

## 町の活性化に向けて町長の英断を望む

### 問 組織の枠を超えて

### 答 横断的組織を検討中

**質問** 建設課と農林商工課の枠を超えて行政運営をして、川を生かしたまちづくりを推進する必要ではないか。

阿賀野川河川公園整備計画に、県は河川法の関係から慎重です。町は組織を超えた観光資源活用策として協議することが必要です。

町活性化に向けた施策の在り方を協議することは、阿賀町の最重要課題です。今、組織を超えた協議する場を求める。

**町長** ボート場付近の河川公園整備事業や麒麟山公園の整備は農林商工課主体で事業推進してきた。内容は施設整備から交流人口増加に向けた計画で関係する各課とも連携してきた。

しかし指摘の通り今後は組織枠を超えた体制を検討し、県と協議していく。組織の肥大化しないような体制を構築していく。

## 問 阿賀町観光拠点とは

### 答 阿賀の里は重要

**質問** 阿賀の里の再生には町長の英断が必要です。現状は経営者不在です。阿賀町の観光拠点として川を生かしたまちづくりと合わせて「阿賀の里」拠点化策の検討が必要ではないか。舟下り事業はどのように検討されているのか。施設の更新対策も必要ではないか。



川を生かしたまちづくり（県立ボート場）



元気な子供たち（きりん荘）

### 問 少子高齢化対策は

### 答 検討を指示する

**質問** 少子化対策は県内一の施策をしています。昨年生まれた子供は40名前後です。保育園や学校統合を踏まえ保護者との意見交換会をし、今後の対策を協議されているのか。

また、高齢者対策での温泉利用無料券発行を考えたか。現在の制度が不評と感じている。

**町長** 来年度予算編成の中で少子化対策や高齢者対策を検討している。保護者会との協議はしている。しかし、少ないようにも感じるので検討する。他町村から移住したいと思われる対策も検討させたい。

温泉無料利用については高齢者だけではなく町民が利用しやすい制度を検討したい。また、福祉関係施設職員が多くいることを念頭に意見を求める。



清野真也 議員

## 問 交流人口増加に向けた対策を

## 答 観光協会にやらせていく

**姉妹都市提携・旧49号線の観光利用・ボート競技以外への宿泊補助等は可能か。**

**質問** 交流人口の増加に向けた対策を町は持っているのか。

観光協会がうまく機能していないなかで、行政が主体となり交流人口の増加に、積極的に関わっていくべきであり、具体的なアイデアはないのか。

例えば、姉妹都市の提携・旧49号線の大牧地区の観光利用やボート競技以外への宿泊補助を行う等の施策を行ってはどうか。

**町長** 交流人口の増加に対しては、観光協会がうまく機能していないということですが、やっていますし、やらせていきます。みなさんからもご理解、ご協力を賜りたい。ご指摘いただいた点も、私自身が提案をするなどして、やっていきたい。姉妹都市に関しては、かつてやっており、再度検討をしてみる価値はある。旧49号線大牧黒岩間を利用

してのイベントなどは、現状難しい状況であるが、一番いい景色であり、あえて使うなら船を通すのが一番なのではないかと考えている。

ボート競技以外への補助の拡大は、これからの推移を受け、ほかのジュニアスポーツ団体においても、交流と競技力強化につながるものなので、前向きに検討していく。

## 問 ふるさと納税にクラウドファンディングの導入を

**答** 現状を見極めながら、判断をしていく

**ふるさと納税の使い道の明確化を**

**質問** ふるさと納税について、今年度9月26日、野田総務大臣よりふるさと納税のさらなる活用に向けた書簡が、全国の都道府県知事及び市区町村長宛に発出された。その中でふるさと納

税の使い途を、地域の実情に応じて工夫し、ふるさと納税を活用する事業の趣旨や内容、成果を出来る限り明確にすること。具体的にガバメントクラウドファンディングとふるさと納税を行った方との積極的な交流の2点があり、阿賀町では導入を検討しているのか。

**町長** これからの取り組みの中でいかしていかなければならない。新年度にどの程度ふるさと納税をいただけるかも懸念材料となるが、今後大きな財源となる可能性もあり、将来を十分に考えた上で検討をしていく。

## 問 廃校後の校舎、保育園の利用促進は

**答** 地域の利用状況を協議しながら進めていく

**廃校後の校舎、保育園の利用促進について**

**質問** 廃校後の校舎、保育園の利用促進について、民間事業者からのアイデアを

集めるために、サウンディング型市場調査の実施を検討すべきではないか。

**町長** 有効な手段ではあると認識しているが、我々が面と向かつての営業が調査よりも必要だと考えている熱意を持ち、利用状況等を協議しながら進めていく。

※用語解説  
◎サウンディング型市場調査→町有地などの有効活用に向けた検討にあたって、活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、対話を通じて市場性等を検討する調査のことです。横浜市、新潟市など一部の先進自治体が行っている手法です。  
◎ガバメントクラウドファンディング→自治体主導のクラウドファンディング、自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄附金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組みです。



施設利用者募集をしている旧西川小学校神谷分校

# 町民の広場

## 私もひと言

### ひろば

募集しています  
あなたも書いてみませんか？

議会では「町民のひろば」の投稿を広く募集しています。書いてみたい方は議会事務局までご連絡ください。後日、広報委員が伺います。

議会事務局 ☎92-3112



田崎英司さん（津川8区）

## 地域活性化に思う

## 女性消防隊の仲間と共に

清野 周さん（水沢区）

出産を機に阿賀町へ越し18年が経ちました。当初は耳慣れない言葉や風習に驚くばかりでした。しかし、生活習慣の違いに臆することなく馴染むことができたのは、同居している義母や親戚、ご近所の方々のおかげであると思います。感謝しています。豊かな水と緑、そして温かい人。阿賀町はとても魅力のある町です。3年程前から、阿賀町消防団女性消防隊にお誘い頂き活動を始めました。入団しても

果たして期待に添えるだろうか、という思いがありました。が、できる範囲で、理解ある家族の支えを受けながら活動しています。昨年は保育園児を対象に劇などによる火災予防活動や、普通救命講習の普及員の資格を得ることもできました。医学の専門家でなくても、ちょっとした知識で大切な人を助けられるのだということを知りました。少子高齢化が益々深刻な阿賀町です。より一層人と人と



防火普及活動（保育園）

の絆を深め助け合える町となるよう、微力ながら伝えていきたいらと、思っています。

が出来る場面で積極的に取り組むことを提案します。



狐の嫁入り行列